


令和2年11月18日

浜田市議会議長
川神 裕司 様

議員名 田畑 敬二 

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 2年11月12日(木) 13:30~14:30
2. 視察内容
母子手帳アプリについて
3. 視察先
大田市役所(佐々木委員と同行)
4. 調査経費 1,259円
経費内訳 ガソリン代 779円(1,558円÷2)
高速代往復 480円(960円÷2)
5. 調査研究活動の概要

別 紙



説明者 布野 英彦 子育て支援課長
勝部 彩子 子育て企画係長

『子育てアプリ おおだっこ』について
(携帯アプリについて)

1. 開発・運営業者

東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
株式会社 エムティーアイ
代表取締役 前多 俊弘

2. アプリケーション

母子手帳アプリ『母子モ』

3. 利用できる機能 (標準機能)

◎予防接種 ・スケジュール管理
・接種日お知らせ

◎子どもの成長記録 ・妊娠中の体調 ・体重記録、胎児・子どもの成長記録
・妊婦検診や子どもの検診記録・記念日の記録・家族共有機能

◎地域の子育て情報 ・イベント情報配信 (予約配信)・子育て関連施設の検索 (保育所、病院、公園等)

◎外国語対応 ・web版は現在11カ国語に対応している⇒外国人には、有効な情報ツールである

4. 予算 使用料は出生人数250人以下の場合、33,000円(税込)以上は、55,000円(税込)いずれも月額

5. 平成31年2月1日 利用開始

6. 登録者数 令和2年11月11日現在 430人

7. 育児相談体制 アプリには相談機能がなかったが、新たに『オンライン相談サービス』機能が追加された

8. 利用者の評価 ・いつでもどこでもタイムリーに情報を受け取ることができる
・公園などの子育て関連施設の場所がわかりにくかったが、アプリで検索することができた
・雨の日でも遊べる場所や授乳室・おむつ交換場所を知りたい
・学校や幼稚園・保育所からのおたよりなどアプリで配信してもらいたい

9. アプリ導入後の成果

・タイムリーに情報を発信できる
・不特定多数に対しても、情報を絞っても情報を発信できる

- ・スマートフォンなどで情報を入手できるため、新型コロナウイルスの感染リスクがない
10. 課題
- ・登録者数の増加・・・現在430人加入⇒目標は500人を目指す
 - ・子育て世代が必要としている情報の把握
 - ・タイムリーに情報を提供し続けること

11. 子育て支援のに関する情報発信

- ・アプリ
- ・Facebook
- ・市ホームページ
- ・子育てガイド

所感

子育てアプリを活用して（開発・運営業者 エムティーアイ）情報提供しており大変に有効な情報提供ツールあると感じた。外国語対応しており、大田市にはブラジル人が多く住んでいるため、有効なアプリであると感じた。アプリの更新やタイムリーに情報を提供し続けることが、役所内の人事異動等で経験者以外になった場合が課題であると感じた。

浜田市の場合、大田市の例から行くと、出生数250人以上で月額、55,000円（税込）であり、多額の予算ではないと感じた。

浜田市も早急に取組む必要があると感じた。